



イネヨトウ幼虫



イネヨトウ成虫

サトウキビ畑を荒らす
イネヨトウの防除に！

交信かく乱用性フェロモン剤

ヨトウコン[®]-I

(インフェルア剤)

交信かく乱用性フェロモン剤 ヨトウコン[®]-I

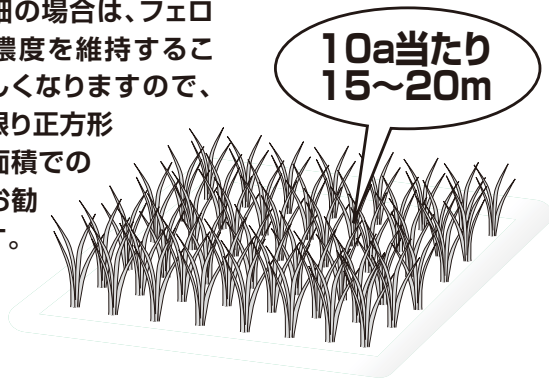
有効成分 (Z)-11-ヘキサデセニル=アセタート………68.7%
(Z)-11-ヘキサデセン-1-オール………24.0%
安定剤等………7.3%

安全性 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
魚毒性：この登録に係る使用方法では該当がない
包装形態：50m巻／袋、15袋／箱

上手な使い方

◆処理本数

10a当たり20mを確実に処理してください。但し、立地条件、風向き、土地の傾斜などを考慮して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに処理するようにしてください。できるだけ大きな面積で本剤を処理することがより効果的です。また、同じ面積でも、細長い畑の場合は、フェロモンの濃度を維持することが難しくなりますので、できる限り正方形に近い面積での処理をお勧めします。



◆処理方法(基準)

製剤を直接植物体に縛りつけ固定するか、もしくは畑に支柱を立て、そこに製剤を結びつけ、ロープ状に張って使用します。この場合、製剤のたるみによって、製剤が直接地面に接触しないように注意してください。



ヨトウコン-Iの登録内容

作物名	適用場所	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
さとうきび 飼料用さとうきび	さとうきび及び 飼料用さとうきび 栽培地域	交尾阻害	イネヨトウ	15~20m/10a (27g/20m製剤)	成虫発生 初期から終期	支柱を立てロープ状の製剤を対象作物の上部に張り渡す。

使用上の注意事項

- 本剤は、さとうきび及び飼料用さとうきびのイネヨトウ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としていますので、これらの成虫発生初期から比較的広範囲な地域で使用する事が望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- 本剤は支柱を立てロープ状の製剤を対象地帯に均一になるように対象作物の上部に張り渡し設置してください。また、標準的な使用量は10アール当り15~20mですが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から判断して、必要な

場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置することが望ましいです。

- 急傾斜地、風の強い地域等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 製剤を直接触れた手で収穫物を触ると臭いが移る恐れがありますので手を洗ってください。
- 設置の際、面積に応じてチューブを切断する場合は、必ず20cm又は1m間隔でヒートシールされている部分を切断してください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用直前に開封し、使い切ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、

には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

貯蔵上の注意事項

- 火気をさけ、直射日光が当たらない冷暗所(5℃以下)に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2022年12月現在の知見に基づいて作成されています。

製造・発売元

ShinEtsu 信越化学工業株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
TEL.03-6812-2442